

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-73161(P2008-73161A)

【公開日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-013

【出願番号】特願2006-254522(P2006-254522)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月16日(2009.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技盤の前面に形成され、発射手段から発射された遊技球が打ち込まれる遊技領域と、該遊技領域に設けられた複数種類の入賞口と、該複数種類の入賞口のうち始動入賞口に遊技球が入球したことに基づいて遊技者に所定の利益を付与する利益付与状態に制御する可否かを判定する利益付与判定手段と、該利益付与判定手段による判定がなされたことに基づいて複数種類の図柄情報の可変表示を開始して所定期間経過後に所定の表示結果を導出表示可能な可変表示装置と、を備え、該利益付与判定手段により前記利益付与状態に制御すると判定されたことに基づいて前記可変表示装置に特定の表示結果を導出表示する遊技機であって、

前記可変表示装置を表示制御する表示制御手段と、

前記遊技領域に配設され、遊技球の受け入れが可能な開放状態と遊技球を受け入れが困難な閉塞状態とに変化可能な大入賞口開閉装置と、

該大入賞口開閉装置に受け入れられた遊技球を検出する大入賞口内検出手段と、

前記大入賞口開閉装置を前記開放状態に制御してからの経過時間を計測する計時手段と、

前記大入賞口開閉装置の開閉回数を計数する計数手段と、

前記大入賞口開閉装置を開閉制御する処理を複数回繰り返し実行する利益付与状態制御手段と、

前記利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御する判定がなされた場合に、高利益付与状態と、該高利益付与状態よりも付与される利益価値が低い利益付与状態に制御し、該利益付与状態の終了後に前記利益付与判定手段によって前記利益付与状態に制御すると判定される確率が通常よりも高い高確率状態に制御される低利益付与状態と、前記高利益付与状態及び前記低利益付与状態とは異なる状態であって前記高利益付与状態よりも付与される利益価値が低い特殊利益付与状態と、のいずれかに決定し、前記低利益付与状態に決定したときに第 1 低利益付与状態と、該第 1 低利益付与状態よりも付与される利益価値が高い第 2 低利益付与状態と、のいずれかに決定し、前記特殊利益付与状態に決定したときに第 1 特殊利益付与状態と、該第 1 特殊利益付与状態よりも付与される利益価値が高い第 2 特殊利益付与状態と、のいずれかに決定する利益価値決定手段と、

該利益価値決定手段によって前記第 1 低利益付与状態及び前記第 2 低利益付与状態に決定された場合に、前記利益付与状態を終了するときに前記表示制御手段により前記可変表示装置を表示制御して前記高確率状態に制御することを通知する第 1 演出表示と、前記高確率状態に制御することを通知しない第 2 演出表示と、のいずれか一方を実行することに決定する演出決定手段と、を備え、

前記利益付与状態制御手段は、

前記利益価値決定手段によって前記高利益付与状態に決定されたことに基づいて前記大入賞口開閉装置を開閉制御する処理を実行し、前記計数手段によって計数した前記利益付与状態に制御してからの前記開閉回数が第 1 回数に達したときに前記高利益付与状態を終了し、

前記利益価値決定手段によって前記第 1 低利益付与状態及び前記第 1 特殊利益付与状態に決定されたことに基づいて前記大入賞口開閉装置を開放状態に制御した後、前記計時手段によって計測した前記経過時間が第 1 時間に達したときに前記大入賞口開閉装置を閉塞状態に制御する開閉制御を実行し、前記計数手段によって計数した前記利益付与状態に制御してからの前記開閉回数が前記第 1 回数よりも少ない第 2 回数に達したときに前記第 1 低利益付与状態及び前記第 1 特殊利益付与状態を終了し、

前記利益価値決定手段によって前記第 2 低利益付与状態及び前記第 2 特殊利益付与状態に決定されたことに基づいて前記大入賞口開閉装置を開放状態に制御した後、前記計時手段によって計測した前記経過時間が前記第 1 時間よりも長い第 2 時間に達したときに前記大入賞口開閉装置を閉塞状態に制御する開閉制御を実行し、前記計数手段によって計数した前記利益付与状態に制御してからの前記開閉回数が前記第 1 回数よりも少ない第 2 回数に達したときに前記第 2 低利益付与状態及び前記第 2 特殊利益付与状態を終了し、

前記付与価値決定手段は、前記低利益付与状態に決定したときに前記第 1 低利益付与状態に決定するよりも高い割合で前記第 2 低利益付与状態に決定し、前記特殊利益付与状態に決定したときに前記第 1 特殊利益付与状態に決定するよりも高い割合で前記第 2 特殊利益付与状態に決定し、

前記演出決定手段は、前記利益付与状態制御手段により前記第 1 低利益付与状態及び前記第 2 低利益付与状態を終了するとき、当該第 1 低利益付与状態及び第 2 低利益付与状態の実行中に前記大入賞口内検出手段によって検出された遊技球の個数が所定数以上であれば第 1 割合で前記第 1 演出表示を実行することに決定し、前記第 1 低利益付与状態及び前記第 2 低利益付与状態の実行中に前記大入賞口内検出手段によって検出された遊技球の個数が所定数未満であれば前記第 1 割合よりも低い第 2 割合で前記第 1 演出表示を実行することに決定することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記表示制御手段によって前記複数種類の図柄情報の可変表示を開始してから前記表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を決定する可変表示時間決定手段と、

前記可変表示時間を通常よりも短くする短縮制御を行う時短制御手段と、

該時短制御手段によって前記短縮制御しているとき、前記可変表示の実行回数として当該可変表示を開始する以前に計数する時短回数計数手段と、

該時短回数計数手段によって計数した前記可変表示の実行回数が所定回数に達したか否かを、当該可変表示の表示結果を導出表示する以前に判定する終了条件判定手段と、を備え、

前記可変表示時間決定手段は、前記時短制御手段によって前記短縮制御していないときに通常可変表示時間に決定し、前記時短制御手段によって前記短縮制御しているときに前記通常可変表示時間よりも短い短縮可変表示時間に決定し、

前記時短制御手段は、前記終了条件判定手段によって前記可変表示の実行回数が所定回数に達したと判定されたときに前記短縮制御を終了し、

前記時短回数計数手段は、前記低利益付与状態を終了するときに前記時短制御手段によって前記短縮制御していれば当該可変表示の実行回数を初期化して前記時短制御手段によって前記短縮制御するとともに該短縮制御中の可変表示の実行回数を初期値から計数し、

前記低利益付与状態を終了するときに前記時短制御手段によって前記短縮制御していない場合及び前記特殊利益付与状態を終了する場合には当該可変表示の実行回数を初期化しないことにより前記特殊利益付与状態を終了するときに前記時短制御手段によって前記時短制御している場合にのみ継続して前記実行回数を計数することを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

遊技機を光装飾する発光部材と、
該発光部材を所定の態様で駆動制御する発光制御手段と、を備え、
前記発光制御手段は、前記時短制御手段によって前記短縮制御しているときには短縮態様で前記発光部材を駆動制御し、前記時短制御手段によって前記短縮制御していないときには前記短縮態様とは異なる通常態様で前記発光部材を駆動制御することを特徴とする請求項 2 記載の遊技機。